

Numazu Fresh News

市町風水害危機管理演習(図上訓練)を実施 ～初めて静岡県と訓練を共同開催～

発信日:2014/1/22

発信者:沼津河川国道事務所

1/21に静岡県と共催で市町風水害危機管理演習(図上訓練)を実施しました。2年前からコントローラーとして参加をしている本演習ですが、今年度は初めて県と共催で演習の企画段階から関わり狩野川流域を舞台に図上訓練のシナリオを策定しました。

訓練はロールプレイング形式で実施し、静岡県東部の自治体職員がプレーヤーとして参加し、危機管理能力の向上に向けて演習に取り組みました。

訓練目的

1. 災害事象に応じた適切な体制の移行
2. 関係機関の情報伝達・共有方法の確立
3. 防災情報の理解促進と災害対応の的確な判断能力の向上
4. 適切な避難勧告発令の決心、その過程の検証

災害時に発表される狩野川洪水予報及び大雨警報や土砂災害警戒情報をはじめとする気象警報等の防災情報の理解及び活用を期待し、避難勧告・指示のタイミングや内水氾濫等への対応、関係機関との情報伝達について検証しました。

訓練スケジュール

ステージ	気象・水位情報	目的事象	対応の焦点
事前情報	(台風接近) 大雨・洪水警報 水防団待機水位	排水機場稼働 放水路開放1h前	
1	はん濫注意水位、はん濫注意情報 出動水位	内水発生	避難準備情報、避難所開設・自主避難の呼びかけ、災対本部立上げ、リエゾン受入、水防団出動
2	避難判断水位、はん濫警戒情報 (台風上陸)	内水拡大	避難勧告 住民の避難誘導
3	(台風通過) はん濫危険水位・はん濫危険情報 計画高水位超過、越水特別警報	堤防漏水、亀裂の発生 逃げ遅れ住民、孤立集落への対応	避難指示 排水機場停止 (外水を防ぐため内水を容認) 逃げ遅れ住民・孤立集落の対応 水防団活動の継続

状況変化に緊迫するプレーヤー



状況付与を行うコントローラー



演習評価を述べる副所長



演習ではコントローラー(状況付与)、リエゾン派遣、演習評価を担当しました。

避難所の開設では、浸水想定も考慮し日没前に避難が完了するように対応を進めるなど、住民の安全を考える姿勢が見られ、広報対応も記者会見の設定など積極的に実施されました。

また、計画高水位でのポンプ停止を踏まえ発生する被害イメージ(浸水範囲拡大等)を本部内で共有するなど、良い対応も見られました。

しかし、堤防への亀裂や漏水対応での水防工法の理解、リエゾンの活用などで課題も見られ、今後の改善点について確認もできました。

狩野川流域の災害対応には自治体職員の危機管理能力の向上が欠かせません。水防法の改正により河川管理者の水防活動への協力が明確になる中、継続して能力向上に向けた取り組みを行っていききたいと思います。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。